

第7回日本大学全国高等学校 土木設計競技

テーマ『わたしのまちに欲しい土木』

— 身のまわりの土木を考える —

2020年は、誰もが予想しなかった年になりました。新型コロナウイルスの影響で、春には緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出の自粛が求められました。解除後も、ソーシャルディスタンスの確保など、いわゆる新しい生活様式が普及し、昨年までと大きく異なる日常を過ごしています。楽しみにしていた夏休みが短くなったり、感染予防のためにお盆の帰省を見送った人も少なくないと思います。日々暮らしている場所と異なる場所を旅することは、目を凝らさずとも新しい発見が数多くあるとても楽しい時間です。以前のように、何も気にすることなく、自由に旅することができる日々が一日も早く戻ってきてほしいものです。

遠方まで足を運ぶことは容易でないかもしれませんが、近所を回ることには大きな障害はないと思います。いつもと違う通学路を通る、これまで行く機会が少なかったまちの外れを散策する、目を凝らせば身の回りに今までにない発見があることでしょう。そして、そこにはきっと新たな土木があるはずです。

土木の仕事は私たちの暮らしを支えることにあります。道路、橋、トンネル、河川、水道、さらには公園、駅前広場など私たちが暮らすまちの中には数多くの土木が存在しています。しかし、私たちの暮らしをより良くするためにはまだまだ多くの“土木”が必要とされています。私たちの住むまちをもっと魅力的にするにはどんな“土木”を加えるとよいでしょうか？

皆さんの暮らすまちにとって“欲しい”と思える“土木”を募集します。



一日大土木の歴史—

日本大学の土木工学科は、1920年（大正9年）に日本大学高等工学校として設置され、私立大学では最も歴史のある学科です。1923年の関東大震災の時に、第一期生の卒業生が震災復興で活躍し、「土木の日大」という名声を世に広めました。以後100年の歴史を刻み、6万人を超える卒業生を輩出し、公務員、政府系企業、コンサルタント、ゼネコン、不動産、住宅、電気・ガス、運輸・通信、プラント、製造業と幅広い分野で卒業生が活躍しています。

■第7回土木設計競技実行委員会

実行委員長 | 【理工学部】関文夫

実行委員 | 【理工学部】小田憲一, 小沼晋, 長谷部寛, 吉田征史, 三友奈々,
佐藤柳言, 園部雅史, 山田雄太

【工学部】笠野英行, 知野泰明

【生産工学部】佐藤克己, 加納陽輔

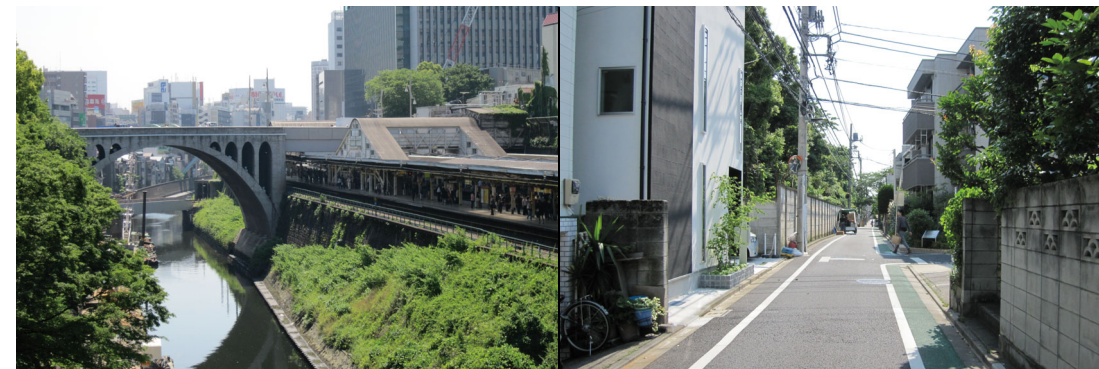
■問合せ及び送付先

日本大学土木設計競技実行委員会事務局

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

E-mail : compe@civil.cst.nihon-u.ac.jp

<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/>



主催 | 日本大学土木設計競技実行委員

共催 | 日本大学理工学部土木工学科, 日本大学工学部土木工学科, 日本大学生産工学部土木工学科

■主催者挨拶

皆さんは、“土木”という分野を知っていますか？

土木は、『人々の生命と財産を災害から守り、生活を豊かにする分野』で、電気、水道、下水道、ガス、通信といった皆さんの生活を支える分野、河川、道路、公園、都市計画といったまちを支える分野、高速道路、新幹線、リニアモーターカー、空港、港湾といった国土を支える分野から、さらには、地球温暖化や環境対策まで地球を支える分野まで取扱う分野です。こうした人々を支える、まちを支える、国を支える、地球を支える分野に興味のある人は、土木という分野を覗いてみてください。

2020年秋、日本大学では、高校生を対象とした第7回土木設計競技を開催します。遠方まで足を運びにくい現状から、近くに目を移し、身のまわりの土木を探し、“わたしのまちに欲しい土木”を考えるコンペティションとしました。

皆さんが暮らしているまちをもっとよくなる、紹介したくなる、自慢したくなる、そんな“わたしのまちに欲しい土木”を募集します。

■応募資格

2020年4月現在、全国の高等学校、工業高校、高等専門学校に所属する生徒の個人またはグループとします。

1校から複数の個人及びグループの参加を認めます。

※2次審査はzoomミーティングを使用したオンライン公開プレゼンテーションを予定しています。

zoomミーティングを使用したプレゼンテーションが行えることをご確認ください。

■応募方法

(1) 参加登録

9月28日(月)17:00までに、以下のフォームにて参加登録を行ってください。途中で辞退しても構いません。

参加登録フォーム URL : <https://forms.gle/gUrZLerNYihg6hqJA>



参加登録フォーム QR コード

(2) 参加登録フォームに必要な情報

①チーム名

②代表者：氏名、所属（高校名、高校住所、科名、学年）、連絡先（メールアドレス）

③参加者：氏名、科名、学年 ×（人数分）

複数の高校混成チームの場合は、参加者ごとの高校名も記載してください。

参加登録完了後に代表者のメールアドレスに確認と連絡事項が届きます。

(3) 応募作品の提出

9月28日(月)18:00までに、参加登録完了後に送られた提出先にアップロードしてください。

■応募日程

9月8日(火)～28日(月) 参加登録フォームの入力(17:00まで)、及び応募作品提出

(応募作品提出フォームの操作は9月28日18:00まで有効)

10月5日(月) 1次審査 結果発表※1

11月8日(日) 2次審査 オンライン公開プレゼンテーション※2

表彰式※3

※1 審査結果は、10月5日までに入賞者の代表者メールに連絡します。後日、土木工学科ホームページに掲載します。

※2 公開プレゼンテーション(2次審査)及び表彰式

日時 | 11月8日(日) 午後(予定) ※午前に接続確認のためのリハーサルを予定します

場所 | オンライン

プレゼンテーションは、2名以内で、パワーポイント、ポスター、模型などを利用して発表して下さい。分かりやすく、迫力のあるプレゼンテーションを期待しております。当日は審査委員から質疑がありますので、しっかりと答えてください。

発表時間及び終了予定時刻は、1次審査の発表とあわせてお知らせいたします。

※3 2次審査後にオンライン表彰式を予定しています。時間が合わない場合は、後日賞状などを送付させていただきます。

■審査委員

審査委員長	関 文夫	教授(理工学部 / 構造デザイン)
審査委員	小田 憲一	准教授(理工学部 / 雪氷工学)
	佐藤 克己	准教授(生産工学部 / 土木環境システム)
	加納 陽輔	准教授(生産工学部 / 地盤工学)
	笠野 英行	准教授(工学部 / 橋梁工学)
	知野 泰明	准教授(工学部 / 土木史)

注) 審査委員は変更になる場合があります。

■応募作品

- 応募作品は、ポスター形式で作成してください。A1サイズ(縦使い)とし、100MB以下のPDFデータもしくはPNG画像データにしたものを提出してください。
- 作品の表現は、模写写真、スケッチ、パース、CG等いずれを使用しても構いません。チームの提案する内容が伝わるように作成してください。特に、現状を踏まえた上で、提案作品との違いが分かるように表現してください。
- 厳正なる審査を行いますので、ポスター表面には、応募高校、応募チーム名、応募者が特定できるような記載は避けてください。
- 応募作品は、未発表の作品に限ります。
- 応募した作品の著作権は、応募者に帰属しますが、応募作品の利用に関する権利は、主催者が保有するものとします。

■賞及び副賞

最優秀賞	1点 団体用カップ・賞状、及び個人用トロフィ・賞状、図書券10万円
優秀賞	2点 団体用カップ・賞状、及び個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム5万円
審査員特別賞	適宜 団体用賞状、及び個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円
入賞	適宜 個人用トロフィ・賞状、図書券各チーム2万円



左から優秀賞団体用カップ、最優秀賞団体用カップ、優秀賞団体用カップ